

[No. 23-15]

令和5年10月16日

報道機関 各位

## 国内3例目にして最古の“一日造立仏”の特別公開！

### 乙訓寺〈新指定〉重要文化財の説明会&内覧会を開催

令和5年6月に新たに重要文化財の指定を受けた乙訓寺の「木造十一面観音立像」と、同じく乙訓寺所有の重要文化財「木造毘沙門天立像」の『2体同時特別公開』を開催することとなりましたのでお知らせいたします。

なお、公開に先立ち、報道・地元関係者の皆さまを対象とした説明会&内覧会も開催します。

#### ■乙訓寺重要文化財「2体同時特別公開」

期 間：令和5年11月11日(土)～12月3日(日) 午前9時30分～午後4時

場 所：乙訓寺 本堂・毘沙門堂（京都府長岡京市今里3丁目14-7）

※ 拝観料：1,000円（解説パンフレット付）

主 催：乙訓寺 / 共 催：長岡京市観光協会

後 援：長岡京市教育委員会



【木造十一面観音立像】

#### ◆報道・関係者向け説明会&内覧会

説明会では、長岡京市文化財保護審議会委員の礪波 恵昭(となみ けいしょう)氏(京都市立芸術大学教授)が、2体の重要文化財の価値や魅力について解説します。

日 時：令和5年10月30日(月) 午前10時00分～11時00分(予定)

場 所：乙訓寺 本堂・毘沙門堂（京都府長岡京市今里3丁目14-7）

※京都市立芸術大学教授 礪波 恵昭(となみ けいしょう)氏

※恐れ入りますが、会場の都合上、当日お越しいただける場合は、事前に問い合わせ先(長岡京市文化財保存活用課)までご連絡いただきますよう、お願いいたします。

#### ※参考



解体修理の際に像内から発見された文書

#### ◆国指定重要文化財「乙訓寺木造十一面観音立像」

～わずか一日で彫り上げられた最古の“一日造立仏”～

これまで経年劣化による解体修理を行っており、仏像内から200点以上に及ぶ大量の文書が発見されました。文書は、造立当初のもので、文永5年(1268)に「一日造立仏」として製作されたものであることが判明。さらに、一日造立仏として3例目、最古の例であることが明らかになりました。

#### ◆国指定重要文化財「乙訓寺木造毘沙門天立像」

～平安の美を伝える、技術の高さと類を見ない豪華さ～

平安時代末(12世紀)の製作で、当初の彩色や截金模様がよく残り、模様の種類の多さや顔料の質の高さ、模様を施す技術の高さなどが評価されています。また、金銀をふんだんに使った截金は他に類を見ないほど豪華なことも特徴です。令和4年に経年劣化による修復を行い、その後、初の公開となります。



【木造毘沙門天立像】

#### 【お問い合わせ先】

長岡京市教育委員会文化財保存活用課（担当:篠原）電話：075-954-3557

メール:bunkazai@city.nagaokakyo.lg.jp